

土木工学科卒業生の活躍

皆さんの先輩にあたる土木工学科卒業生のOB・OGは、社会の様々な分野で活躍しています。その業種は、国土政策から都市計画、まちづくり、構造物の設計など幅広く、さらに専門性に特化した仕事など多岐に渡ります。先輩達は皆、土木工学科で学んだ知識と大切な仲間のネットワークを活かし、情熱を持って日々の仕事に取り組んでいます。

松浦 亜祐美 さん

平成 25 年度 卒業

前田建設工業株式会社 東北支店 井土浦 CSG 堤防作業所



私は、在学中に東日本大震災を経験し、会社に入社して東北で震災復興事業に携わっています。今までに、被災地の造成工事や堤防の復旧工事の現場で、施工管理の仕事に従事しています。

ゼネコンの施工管理とは、ただ図面に示される通りに構造物を造ることだけが仕事ではありません。品質や出来形を日々確認することも業務の一つですが、工事に従事する作業員の安全を管理・指導し、



作業の進捗を把握して効率的な作業を検討し、工程を管理することも重要な業務です。これらの責任ある仕事、そして職員・作業員がチーム一丸となって1つの物を造り上げていくことが、

自分にとっての刺激であり、この仕事のやりがいです。

ゼネコンの一番の醍醐味は、仕事の成果がカタチに残るところです。先日、私が工事着工から竣工まで施工管理していた宮城県仙台市の堤防が完成しました。工事が竣工したときの達成感は、まさに感無量でした。何より、その達成感を共に仕事をしてきた仲間と味わえるのが嬉しいです。震災復興の一助として、そして人々の安心した生活を担うための堤防の建設に携われたことは、自分の人生の中の誇りです。

日大土木の繋がりやの強さは社会人になってからより一層感じます。同じ会社だけでなく、この業界のどのネットワークにも必ずと言っていいほど日大土木のOB・OGの方がよくいます。皆さんもこの繋がりを是非活用していただきたいです。この業界で仕事を一緒にできることを楽しみにしています。

遠藤 光 さん

平成 24 年度 大学院修了

東京都 下水道局 第二基幹施設再構築事務所



下水道局配属 5 年目になり、これまで下水道施設の設計や施工監督に携わる部署で仕事をしてきました。設計ではコンサルタントと協力し、構造計算や設計図面の作成を行いながら、各関連企業との調整業務を行いました。また、施工監督では施工会社と協力し、安全管理が適切か、設計通りの施工で進んでいるのかを確認し、工事現場周辺にも気を配りながら円滑に工事を進める業務を担当しています。



東京都職員になってよかったことは、計画・設計・施工・維持管理と全ての業務に携わることができ、また事業の規模も大きいことから、仕事のやりがいがあることです。

そしてなにより、事業完了時の手応えとものづくりの感動は格別で、自分の携わった事業が形に残ります。また、仕事以外のことについては、東京都ではライフ・ワーク・バランスの取り組みをしていることから、生活と仕事の両立を図ることができる職場環境であるため、生活面では家庭・趣味・勉強が充実できています。

土木工学と聞いてなかなかイメージがつかないかも知れませんが、都市計画・道路・橋・港・上下水道など様々な分野で活用でき、社会インフラを支える上で必要な学問が土木工学です。社会インフラを支えることは、人々の安全を守り、安心して快適な生活を支えることなので、社会に出てからのやりがいがある分野だと思っています。将来、みなさまと仕事ができる日を楽しみに待っています。